

# 次の時代へ向け

# たまちづくり

## 美里町長 原田信次



新謹賀  
新年

町民の皆様には、健やかに令和五年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政進展にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年には新型コロナウイルスが確認され、四年目に入ります。変異株が次々に出現し、大きな波が何度も発生しています。早くインフルエンザのような特效薬や年に一度のワクチン接種で済む日が来ることを願うばかりです。町民の皆様には感染リスクの高い場所は避けるか、感染対策をしっかりしてお過ごしください。そ

して、お済みでないかたは、ワクチン接種をお願いいたします。さて、次の時代へ向け、今年から進めようとする施策をいくつかお話しします。始めに安全安心施策として、今年から下児玉の水道施設である第二浄水場の代替え施設に着手します。当浄水場は、令和元年の台風19号により上流の小山川が越水はしなかったものの堤防が決壊しました。決壊して浸水した場合には長期の断水が想定されます。多額の建設費となりますが、最も経費節減ができる、別の場所に代替え施設を建設します。ようやく寄居スマートICが全面開通し、産業団地もできました。今後、この効果を最大限に活かすため、役場周辺エリアの土地利用を見直し、今までできないと思われていた商業地や住宅地などの農地転用を進め、町の核となる新たな拠点を具体化していきます。昭和四十〜五十年代にかけて建設した小学校などの公共施設は、維持更新時期を迎えています。国・県の補助や民間の力を活かした工夫をし、改修等を進め、皆様に活用される施設づくりを目指しま

す。特に、小学校の統合については、具体的な考えを町民の皆様にお示ししたいと思っております。世界各地で異常気象が多発しています。世界的に脱炭素が進む中、政府も2050年のカーボンニュートラルを表明し、わが町も宣言しました。今後、個人住宅や企業、公共施設等で太陽光発電設備や蓄電池など、再生可能エネルギーが負担無く設置できる手法を検討します。この他、子育て支援、住民の皆様にご利用しやすいデジタル化、ペーパーレス化、公共施設の脱炭素化も進めます。いずれにしても、町民の皆様に必要な予算を確保するため、企業誘致等による税収増、国・県の補助金活用、健康づくりによる介護や医療費等の低減、公共施設の統廃合等を含む支出抑制、土地利用による若い人に魅力のあるまちづくりを進めるなど、美里町が持続可能で安定した行財政運営ができるよう、全力を傾注いたします。新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを祈念し、新年のごあいさついたします。

## 謹賀新年

美里町議会議長

橋場 倅男



町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。美里町議会議員として、4年の任期最終の年を迎えました。町民の皆様から様々なご意見等もあろうかと思いますが、町の意思決定機関として4年間数々の議案や陳情等を町民の立場で慎重に審議してまいりました。おかげをもちまして大過なく新年を迎えられましたのも、皆様の温かいご指導、ご鞭撻の賜物と心より感謝申し上げます。さて、昨年は、10月に農村公園が「ミムリンパーク」としてリニューアルオープンいたしました。子供の興味を引く明るい色彩の遊具があり、幼児が安心して遊べる空間です。是非皆さん足を運んでください。

また、埼玉県内で「住み続けたい自治体」に、美里町は10位と読売新聞に掲載されました(リクルートが首都圏在住の20歳以上の男女にインターネットで実施した調査)。本町が「移住受け入れから結婚、妊娠、子育てに至る切れ目のない支援に力を入れる」と評価されましたことは素晴らしいことだと思います。町では、第5次美里町総合振興計画に基づき、まちづくり拠点地区(中心拠点)を美里スーパータウン・プロジェクトとして、スマートICによる新たなポテンシャルを活かした生活・経済活動の中心となる機能の集約により、町民の生活と自然環境が共生したコンパクトで魅力的な拠点づくりの取組を進め、少子高齢化により2040年に8400人まで減少する人口問題をくい止め、皆様とともに夢は大きく1万5000人の町を、子どもから高齢者まで「隅々まで幸せに」なる町づくりを、議会も一丸となり全身全霊努力してまいりたいと思っております。新型コロナウイルスに加え季節性インフルエンザの流行も懸念されておりますので、感染対策を心掛けていただきますようお願いいたします。結びに、町民皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

## 町長が選んだ

### 令和5年

## 町の5大ニュース

- 1 第33回埼玉県消防操法大会小型ポンプの部準優勝!
- 2 SUMO住民実感調査2022 埼玉部門第10位
- 3 全国に先がけガバメントクラウド上で基幹システムを稼働
- 4 埼玉版スーパー・シティプロジェクトによる持続可能なまちづくりに着手
- 5 「ひょう被害を受けた農家へ」クラウドファンディングで多くの支援が集まる



大会当日、町長もかけつけての集合写真

消防団では団員を募集しています。女性のかたで消防団活動に興味がありましたら、総務課(☎76-1115)までお問い合わせください。